

## 別紙1「詳細仕様書」

### 1 ハードウェアについて

1-1 データサーバは1台として次の要件を満たすこと。

心電図ファイリングシステムの稼働に適した性能、容量を有するサーバ機器を選定すること。

- 1-1-1 CPUの演算性能はインテル Xeon プロセッサ 6325P (3.50GHz/4コア/12MB)相当以上であること。
- 1-1-2 CPUは1基搭載可能なこと。
- 1-1-3 主記憶装置の容量は標準で16GB以上であること。
- 1-1-4 ハードディスクの実行容量は、計4000GB以上であること。
- 1-1-5 データ保存部のハードディスクは、10kpm(SAS),RAID1/5構成で、単一故障でもデータの損失に陥らないこと  
ホットスペアとして、ハードディスクを1台上装備していること。
- 1-1-6 バックアップはArcserveUDPを利用し、バックアップ用NASにフルバックアップの後、毎日増分を取り、1週間こ  
マージしていくこと。
- 1-1-7 1000Mbps以上のLANインターフェイスカードを2ポート以上装備すること。  
通信プロトコルはTCP/IPに対応していること。  
Auto MDI/MDI-Xに対応していること。
- 1-1-8 DVDドライブ装置を装備していること。
- 1-1-9 無停電電源装置を有しており停電時や電源障害発生時に全サーバ等を安全に停止させることが可能である
- 1-1-10 19インチラックに搭載可能であること(2U以下)。
- 1-1-11 冗長化電源構成とすること。
- 1-1-12 今回調達で必要なWindows Server デバイスCAL(Client Access License)を10ライセンス含めること。

1-2 バックアップ装置は次の要件を満たすこと。

- 1-2-1 ハードディスク容量は計4TB以上であること。増分バックアップに適した容量であること。
- 1-2-2 データ保存部のハードディスクはRAID5構成で、単一故障でもデータの損失に陥らないこと。
- 1-2-3 1000Mbps以上のLANインターフェイスカードを装備すること。通信プロトコルはTCP/IPに対応していること。  
Auto MDI/MDI-Xに対応していること。
- 1-2-4 保存データをはじめ、データベースファイルが定期的にバックアップされること。
- 1-2-5 無停電電源装置を有しており電源異常時、3分間以上電源供給ができること。
- 1-2-6 19インチラックに搭載可能であること(1U以下)。

1-3 サーバ、周辺機器の設置は次の要件を満たすこと。

- 1-3-1 西館3Fサーバ室のサーバラックに設置し、KVM装置(8ポート)へ接続すること。
- 1-3-2 サーバとKVM装置へ接続するためのケーブルを含めること。
- 1-3-3 全て抜止式の電源コンセントを含めること。

1-4 専用端末はデスクトップ端末4台として次の要件を満たすこと。

心電図ファイリングシステムの利用に適した性能、容量を有するパソコンを選定すること。

- 1-4-1 CPUの演算性能はインテル Core i5-14400 プロセッサ(4.70 GHz/6コア)相当以上であること。
- 1-4-2 主記憶装置の容量は標準で8GB以上であること。
- 1-4-3 SSD容量は計256GB以上であること。
- 1-4-4 液晶ディスプレイ装置は、1920 × 1080ドット以上の解像度を有すること。
- 1-4-5 液晶ディスプレイ装置の表示サイズは対角23.4インチワイド以上であること。
- 1-4-6 キーボード、マウスを装備すること。  
キーボードは、日本語、JIS標準配列(数値キーパッド付)、OADG準拠配列であること。  
マウスは、スクロール機能付きUSBマウス(光学式、またはレーザー式)であること。
- 1-4-7 1000Mbps以上のLANインターフェイスカードを装備すること。通信プロトコルはTCP/IPに対応していること。  
Auto MDI/MDI-Xに対応していること。
- 1-4-8 DVDドライブ装置を装備していること。
- 1-4-9 インターフェースとして、USB3.0 以上のType-Aを2ポート以上、Type-Cを1ポート以上内蔵していること。  
マウス、キーボード、スキャナ、マルチカードリーダー等が接続できるUSBポート(または、接続端子)を備えていること。  
オフライン検査データの取込みにおいて、ATA規格対応のPCMCIAマルチカードリーダーが接続可能であり、正常に利用できること。
- 1-4-10 Office LTSC Standard 2024を4ライセンス含めること。  
調達期間内に新たなバージョンのオフィスがリリースされる場合は最新バージョンのオフィスを提供すること。
- 1-4-11 稼動OSは、Windows 11 Proであること。

1-5 スキャナは1台として次の要件を満たすこと。

- 1-5-1 フラットヘッド方式であること。
- 1-5-2 1600dpi以上の解像度を有すること。
- 1-5-3 原稿サイズはA4用紙に対応していること。
- 1-5-4 PC本体とは、USB規格で接続できること。

1-6 マルチカードリーダーは1台として次の要件を満たすこと。

- 1-6-1 SDメモリーカード、コンパクトフラッシュカード、PCMCIAドライブATA規格のカードに対応していること。
- 1-6-2 そのカードリーダーを使用し、心電図検査データをシステムに取り込めること。
- 1-6-3 PC本体とは、USB規格で接続できること。

## 2 ソフトウェアについて

2-1 心電図ファイリングシステム(MBF-1000)は、次の要件を満たすこと。

- 2-1-1 心電図ファイリングシステム(MBF-1000)は、本院が有するライセンスを利用すること。
- 2-1-2 現在運用中の心電図ファイリングシステム環境と同等の機能および性能を有する環境を構築すること。
- 2-1-3 既存保守業者との間で必要な調整及び協議を行い、現行のシステム利用環境との整合性を確保した上で、設計、設定および動作検証をおこなうこと。  
なお、インストール媒体等は、本院(または、既存保守業者)が提供する。
- 2-1-4 現行システムで利用している機能、構成及び設定に関する事項は、本仕様書の「既存保守業者連絡先」へ照会し、確認すること。

2-2 データサーバ装置に導入するソフトウェアは、次の要件を満たすこと。

- 2-2-1 稼働OSは、Windows Server 2022 standard以上であること。  
本院が有する心電図ファイリングシステム(MBF-1000)が稼働するOSであること。
- 2-2-2 データベースはSymfoware Server プロセッサライセンス V12.7相当以上であること。
- 2-2-3 停電等の電源異常が設定時間を超えて継続した際、無停電電源装置と連携し、サーバ機器を安全に自動シャットダウンする電源管理ソフトウェアを導入すること。